

橋のある風景

私たちのふるさと小松島市は、剣山系からもたらされる豊かな水に恵まれた水郷でもあります。市内には勝浦川、神田瀬川、立江川が流れ、そこに架かる橋には地域の特徴を活かした個性的なデザインが施され、私たちを楽しませてくれます。

街の中心部を流れる神田瀬川には、八千代橋・千歳橋・神代橋・蓬萊橋・道開橋と、めでたい名称の橋が続きます。

また近年は、橋の架け替え作業が進んで新しい橋が次々と完成。門前町の面影をしつらえた「平成橋」、県鳥しらさぎのレリーフが美しい「立江川橋」、東四国国体剣道競技の会場となった市立体育館・武道館横にある「小田浦橋」には、親柱の上に剣道着姿のかわいい子狸が立っています。源義経像のある旗山近くには、源氏橋、義経橋が、さらに上流には弁慶橋、牛若橋、恩山寺谷川には弘法大師ゆかりの朱塗りの母養橋も完成しました。橋の名前の中にもさまざまな物語が見えてくるようです。



悪人が通りかかると必ず白鷺が舞い降りるという言い伝えのある「白鷺橋」(平成13年改修)



欄干に市の花・木、小松島港の風景をあしらった「八千代橋」(平成3年開通)



白鷺のレリーフが魅力的な徳島南バイパス「立江川橋」(平成3年開通)



大正時代から街のシンボル。レトロ調の「千歳橋」(平成8年掛け替え)



かつての川港の風景をプレートに描いた「道開橋」(昭和32年架設)



藩政時代からある「神代橋」、親柱に勾玉をあしらう(平成5年改修)



港にハナミズキをあしらったモニュメント風の親柱が印象的な「蓬萊橋」

水は大地を育み、人々の暮らしを潤す貴重な地域資源です。波静かな海辺で、ふるさとの川で、いま新しい快適環境の整備が進められています。

Komatsushima City, which touches us, is also a riverside district enjoying plenty of water produced in the water system of Mt. Tsurugi. Through the city center, the Katsuura, the Kandase and the Tatsue River run, and the bridges across the rivers are so uniquely designed that passers-by take delight in looking at them. Also, the names of the bridges derive their origin from various episodes, which is entertaining to know about.



勝浦川橋



国体開催記念・剣道着姿の子狸の銅像がかわいい「小田浦橋」(平成2年開通)



天王谷川上流に平成4年以降に完成した「弁慶橋」



元根井川用水路に昭和10年に架けられた「彌生橋」(平成5年改修)



旗山近くに架かる「源氏橋」。
親柱に源氏の紋章「笹龍胆」のレリーフが



かつて門前町であった立江の風情が薫る「平成橋」
(平成2年開通)



狭く老朽化した潜水橋を上流に架け替えた「野上橋」
(平成5年開通)



昭和14年に開通した旧赤石橋を
平成5年に改修した「あかいこう橋」



源義経伝説にちなんで名付けられた「牛若橋」



親柱に義経の騎馬像の銅板がはめ込まれている「義経橋」
(平成4年完成)



小松島ステーションパークの自転車歩行者専用道路にある「瓢箪橋」



母養山恩山寺の登り口にある朱塗りの橋「母養橋」